

2010 年 12 月 17 日

各 位

同志社大学 PBL 推進支援センター
センター長 山 田 和 人

シンポジウム「PBL 教育における多面的評価－PBL は社会で役に立つか－」の開催について（ご案内）

拝啓 師走の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は本学に対しまして格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、本学では、2009 年度に「文部科学省大学教育・学生支援推進事業【テーマ A】大学教育推進プログラム」に採択された「プロジェクト・リテラシーと新しい教養教育～課題探究能力を育成する PBL 教育の方法論的整備～」に係るシンポジウムを以下の通り開催することになりました。

つきましては、ご多忙の折とは存じますが、是非ご参加いただきたく、ご案内申し上げます。
また、関係者の方々へもご周知いただければ幸いです。参加をご希望されます場合は、2011 年 2 月 21 日(月)までに、e-mail または FAX により、下記問合せ先へお知らせいただきますよう、お願いいたします。

敬具

記

同志社大学 PBL 推進支援センター主催 2010 年度第 2 回シンポジウム
「PBL 教育における多面的評価－PBL は社会で役に立つか－」

1. 日 時：2011 年 2 月 26 日（土）13：00～16：30
2. 会 場：同志社大学 今出川キャンパス 明德館 1 番教室
3. 参加費：入場無料
4. プログラム：
あいさつ 土田 道夫／同志社大学 副学長・法学部教授
●第 1 部 提言「大学教育に求めるもの」
海老原 嗣生／株式会社ニッチモ 代表取締役
松本 美奈／読売新聞東京本社編集局教育取材班記者
●第 2 部 在学生による報告「プロジェクト科目で学生は何を学んでいるか」
北村 龍弥／2010 年度プロジェクト科目受講生・法学部 4 年生
中谷 しのぶ／2010 年度プロジェクト科目受講生・文学部 4 年生
●第 3 部 シンポジウム「PBL 教育を考える～提言者・在学生・卒業生の視点から～」
海老原 嗣生／株式会社ニッチモ 代表取締役
松本 美奈／読売新聞東京本社編集局教育取材班記者
北村 龍弥／2010 年度プロジェクト科目受講生・法学部 4 年生
中谷 しのぶ／2010 年度プロジェクト科目受講生・文学部 4 年生
三宅 将史／鳥取環境大学キャリア支援課・2007・2008 年度プロジェクト科目履修
安本 梓／京都市立松尾中学校英語科教諭・2007 年度プロジェクト科目履修
＜司会＞山田 和人／同志社大学 PBL 推進支援センター長・文学部教授

【お問合せ先】同志社大学 教育支援機構 教務部 教務課 PBL 推進支援センター事務局
TEL：075-251-4630／FAX：075-251-3064
e-mail: ji-pbl@mail.doshisha.ac.jp

案内 URL：http://www.doshisha.ac.jp/academics/activity/sympo110226.php
ホームページ：http://www.doshisha.ac.jp/students/curriculum/pbl/
http://www.doshisha.ac.jp/academics/institute/ppsc/

以上

PBL教育における多面的評価

ー PBLは社会で役に立つか ー

2011年
2月26日(土)

13:00~16:30

同志社大学

今出川校地 明德館1番教室

京都市上京区今出川通烏丸東入
京都市営地下鉄烏丸線今出川駅下車

先着150名
入場無料

挨拶 土田 道夫 (同志社大学 副学長・法学部教授)

第1部 提言「大学教育に求めるもの」

海老原 嗣生

(株式会社ニッチモ 代表取締役)

松本 美奈

(読売新聞 東京本社 編集局 教育取材班記者)

第2部 在学生による報告

「プロジェクト科目で学生は何を学んでいるか」

第3部 シンポジウム

「PBL教育を考える ～提言者・在学生・卒業生の視点から～」

【司会】同志社大学 PBL推進支援センター長・文学部教授 山田 和人

申込 メールまたはFAXにて先着150名受付 詳細は裏面

締切 2011年2月21日(月)

主催 同志社大学 PBL推進支援センター (京都市上京区今出川通烏丸東入 京都市営地下鉄烏丸線今出川駅下車)

1. 件名「PBLシンポジウム参加申込」 2. 氏名・所属(勤務先・役職など) 3. 連絡先(住所・電話番号・e-mail)
4. 懇親会参加有無 を明記のうえ、下記までお申し込みください。

FAX. 075-251-3064 e-mail. ji-pbl@mail.doshisha.ac.jp

プログラム

13:00~13:10 挨拶 土田 道夫 (同志社大学 副学長・法学部教授)

第1部

13:10~13:50 提言「大学教育に求めるもの」

海老原 嗣生 (株式会社ニッチモ 代表取締役)

松本 美奈 (読売新聞 東京本社 編集局 教育取材班記者)

第2部

13:50~14:30 在学生による報告「プロジェクト科目で学生は何を学んでいるか」

北村 龍弥 (2010年度プロジェクト科目受講生/法学部4年生)

中谷 しのぶ (2010年度プロジェクト科目受講生/文学部4年生)

14:30~14:45 質疑応答

14:45~15:00 休憩

第3部

15:00~16:30 シンポジウム「PBL教育を考える ～提言者・在学生・卒業生の視点から～」

【司会】同志社大学 PBL推進支援センター長・文学部教授 山田 和人

海老原 嗣生 (株式会社ニッチモ 代表取締役)

松本 美奈 (読売新聞 東京本社 編集局 教育取材班記者)

北村 龍弥 (2010年度プロジェクト科目受講生/法学部4年生)

中谷 しのぶ (2010年度プロジェクト科目受講生/文学部4年生)

三宅 将史 (鳥取環境大学キャリア支援課/2007・2008年度プロジェクト科目履修)

安本 梓 (京都市立松尾中学校英語科教諭/2007年度プロジェクト科目履修)

懇親会

17:00~18:30 会場:同志社大学 アーモスト館 ゲストハウス ダイニングホール 参加費:2,500円

参加申込書

文部科学省 大学教育・学生支援推進事業【テーマA】 大学教育推進プログラム

『PBL教育における多面的評価—PBLは社会で役に立つか—』

ふりがな			
氏 名			
勤務先			所属・役職
連絡先	住所		
	TEL	FAX	
	e-mail		
懇親会	参 加 ・ 不参加 ※参加費:2,500円・当日シンポジウム受付で申し受けます		